会 議 録

会議の名称	平成21年度 第2回地域協議会
開催日時	平成21年11月6日 午後1時30分から
開催場所	日新館「学習室」
出席者氏名	<p>委員 (18名)</p> <p>五十嵐徳、小沼文夫、佐藤允尚、正木正(会長)、大井仁史、佐藤伸一、佐藤公、土田典子、原田浩司、茂木保、茂木美寶子、伊豆秀一、岸田良子、小番けい子、佐藤寿美子、佐藤孝義(副会長)、佐藤久美、佐藤嘉孝</p> <p>由利本荘市 (8名)</p> <p>(本庁) 理事 猿田正好 (矢島総合支所) 総合支所長 細谷正幸、福祉保健課長 伊東幹雄、産業課主席主査 梶原昌章 建設課長 工藤一男、教育学習課長 佐藤勝一 (事務局・・・振興課) 主査 三浦利彦、主事 佐々木有希子</p>
欠席委員氏名 (10名)	佐藤政一、佐藤洋一、土田稔、小番より子、佐々木知栄、佐藤系悦、土田克夫、土田長夫、茂木昭二郎、豊島一郎
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 由利本荘市理事あいさつ</p> <p>4. 協議</p> <p style="padding-left: 2em;">地域づくり推進事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">さくら満開まちづくり事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">第3回地域協議会の開催日時について</p> <p>5. 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">由利本荘市定住自立圏形成方針の策定について</p> <p style="padding-left: 2em;">第1回協議会における意見・提案に対する取り組み状況について</p> <p>6. その他</p> <p>7. 閉会</p>
会議の経過	別紙のとおり

平成21年度 第2回地域協議会

1. 開 会 13:30～（進行：矢島総合支所長）

2. 会長あいさつ

正木会長

ご多忙のところご参集いただきまして厚く御礼申し上げます。

第1回協議会において幹事の選任を委ねていただき、幹事を選任しております。豊島一郎さん、佐藤允尚さん、土田長夫さん、茂木美寶子さん、岸田良子さんの5名ということで、正副会長を入れて7名で幹事会を構成させていただき、先日、第1回目の幹事会を開催しました事をご報告いたします。

今日は猿田理事さんを迎えての開催で、協議内容につきましてはご案内のとおりですが皆さんの忌憚ない意見をいただきながら会議を進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

第1回目の協議会において定住自立圏構想の説明をうけておりますが、先般、都市機能整備に向けて民間事業者の投資を促す交付金550億円が100億円に圧縮されるという新聞報道がありました。民主党政権に変わってから450億削減されたわけですが今後、由利本荘市が取り組もうとしている事業との連動する共生ビジョンという部分でどのような影響があるかが心配されることです。この後、猿田理事さんにあいさつをお願いしておりますが、事業への影響があるのかという辺りも触れながらお願いできればと思います。

それでは案件に基づきまして皆さんの忌憚の無いご協議をお願い申し上げます一言あいさつにかえさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3. 由利本荘市理事あいさつ

猿田理事

好天で冬支度のお忙しい中をお集まりいただきまして誠にありがとうございます。今日は「地域づくり推進事業」を中心として皆様方に積極的にご協議いただきたいと思います。

この地域づくり推進事業については、この後事務局から説明あるかと思いますが、長谷部市長が就任されてから、これまで合併して5年が経過しましたが公共料金の均一化ですとか補助金の見直しですとか、様々合併に伴ってご不便をおかけしなければいけない部分が相当出てきております。そういった中で関連するかどうかはよく分かりませんが、それぞれの地域でこれまで特色あってやられてきた部分、それから活力のようなものが少し薄らいできているというのが市長の率直な感想のようです。それは私も認めざるを得ません。市長から就任間もなく、地域の活力を見出す糸口を与えなければいけないとの事で検討の指示がありました。年度途中でこのような形で皆さんにお願いするのは、実は来年度予算に向けて何とかそういったものを各地域にプレゼントといいますが、逆に地域協議会の委員の皆さんには宿題のような格好になってしまい大変恐縮ではありますが、そういった形を地域にお預けして地域の発展、ひいては全市の均衡ある発展、そういったものに資していきたいというのが率直な市長の気持ちでありますしそういったことを受けての今日の会議であります。第1回目の協議会では会長がおっしゃいましたように定住自立圏構想についての説明をさせていただきました。確かに民間での定住自立圏構想での財源が凍結という報道がなされておりますけれども、先月には各自治体で構成する定住自立圏構想の先行実施団体という全国24団体ありますけれども、市長、町長さん達の全国会議が島根県の出雲市でございまして、そちらのほうにも市長が出席しております。総務省からも担当の椎川さんという審議官はじめ、そうそうたる皆さん方がお集まりになっての会議が行われて今年度末に向けての共生ビジョンたるものを策定して来年度以降、この事業を進めていくという確認がなされておりますので、しかとした文書が届い

ている訳ではありませんが、公共団体あるいは地方自治体が行う定住自立圏構想の事業内容については今のところ支障ないものという判断のもとに我々動いております。従って万が一の事を考えてもなかなか事が進みませんので、我々は肅々とこの事業を進めて参りたいと考えております。現在、来年度予算要求の作業が着々と進んでおりますが、就任後初めて市長のカラーを出せる来年度予算編成のひとつの目玉ということで各地域にお願いしようというのが趣旨でございます。これまでの事業は縛りや制約が多くて皆様方に存分に知恵を出しえない部分があったのではと思いません。今回はなるべくそういった縛りを無くして自由に地域の皆様方が自由な発想のもとに色々な事業を展開していただけるような仕組みづくりをしていきたいと考えております。もちろん常識的な範囲内での事業展開となりますが市からの縛りは最小限にと考えておりますので、そういったことを踏まえて今日は率直な意見交換をして来年度に向けての良いアイデアをたくさん出していただければありがたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

4. 協議

地域づくり推進事業について（～振興課振興班 三浦主査）

この事業は市長の公約でもありますとおり合併後の地域格差といわれるものを是正するための対策の一貫として22年度より新規に実施されるものでありますが、現在、各地域の裁量により支出可能なハード面での緊急修繕予算というものが500万円措置されておりますが、これを1000万円まで拡充し、うち300万円を地域の特色ある部分を生かすためのソフト事業に支出するものであります。この予算については、これまでのような行政主導の事業提案及び決定というのではなくして地域協議会及び地域から提案をもとに決定に至るまでの一連の権限を地域協議会が担うものでありますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

以下、【資料1】に基づき趣旨、対象事業等について説明。11月20日を期限として委員各位より委員区分にこだわらず地域全体の活性化を勘案し事業提案（複数可）を提出してもらうようお願いする。11月下旬に第2回幹事会を開催し事業提案のとりまとめを行うことを説明。

A 委員

この予算、紐付きじゃないということでありがたい事だと思ひます。従来、商工会青年部等の矢島地域の各種団体が地域振興のために実施していた様々な事業があり、行政からも補助金等の支援をいただいていたものと思ひますが、それとは別枠と考へてよろしいのでしょうか。そうでないとすれば単に名称が変わるだけで意味が無いと思ひますがいかがでしょうか。

猿田理事

別枠と考へて結構です。ただ、従来枠が来年度以降も保証されているかという事とはまた別の議論であります。事務局から説明あったとおり従来行われていた事業に対するグレートアップも可能です。それから、何でもいいからと言われても逆に困るかと思ひますが、気兼ねなく提案していただいてかまいませんので、（事務局に対し）提案書は1枚ではなく各委員に複数枚渡してください。

この事業は、1年で結果が出ればそれに越した事はありますが、複数年実施する中で反省点を踏まえながら効果を期待するものでありますので継続性を持った事業展開の中に組み込んでいくという事でもかまわないと思ひます。

事務局

行政改革の中で統一した見解のもと、廃止や予算の減額になった事業がありますが、それら事業をこの予算で手立てしても良いのかとの議論も担当者会議の中でありましたが、常識の範囲内で地

域の活性化に必要な事業であると地域協議会で認められるとすれば、それはそれという事のようにです。

B 委員

必要な事業かどうかというのは誰が判断するのですか。

細谷総合支所長

あくまでも目的は矢島地域のまちづくり、それから活性化であります。皆様からは色々な提案を出していただき、それを地域協議会の皆さんで協議し予算化するというものです。

B 委員

委員が個人個人での提案となった場合、300万を超える可能性があると思いますが、それぞれの思いを持って提案しているのに、それを幹事会がよし悪しを決めるのですか。

細谷総合支所長

幹事会ではなく協議会で決めるのです。

B 委員

幹事会で取りまとめの上、原案を出すという説明がありましたが、原案というのはあくまでも300万以下ですよ。原案が300万円を超える事があるのですか。その場合それを精査するのは幹事会でしょうか。

猿田理事

それはどこの地域においても一緒だろうと思いますが、提案が多ければ多いほど振り落とされる部分も多いのは間違いありません。それは今までのように行政が査定して予算付けをするというような事はしませんということでもありますから、皆様方が公平な立場で色々な提案を第3者的な立場で、皆で話し合って300万円の範囲内で選定してほしいということです。極端な事を言いますと、300万1つでもいいでしょうし、100万を3つでもかまわないでしょうし、10万を3つでもかまいません。

B 委員

私は観光協会からの代表ということで委員を務めておりますが、観光協会では観桜会、ひな街道等、年間を通じた色々なイベント、また高松、丸亀等との地域交流をも行っており、個人での提案ではなく観光協会なり、A委員が言われていた商工会等、各分野からの要望として、これだけの委員数ですので分科会的なものを組織し、行政の担当も含め議論し提案したらいかがなものかと思えます。2週間しかない中で個人個人に提案しろといわれても容易ではないと思うのですが。

正木会長

今言われた観光協会等、受け皿になる団体があることと思えます。色々な提案を揉んで行く中でそれが形作られるものだと思います。

A 委員

それぞれ皆さんいろいろな立場で協議会に来られていると思いますが、B委員をはじめ今まで地域のイベント等を担ってきた方々ですので、自由な立場で協議会の中で意見を出していったらいいと思えます。というのは今まで予算措置していただいていた事業もございますけれども、ひな街道

なんかは実績が上がっている割に予算措置できずに、地域の皆さんが作りあげたイベントですので、そういったところには重点的に配分していったほうがいいのではないかと、皆さんやってこられた方々ですのでこの辺に使ったほうがいいのではないかという当たりもついていると思いますので、最初はざっくばらんに既存事業でも予算措置したほうがいいと思われるものを挙げてもらい、皆さんで協議したらいいと思うのですがいかがでしょうか。

正木会長

いずれ、合併前に各町で立ち上げた事業というものが合併と同時になおざりにされているという部分が、長谷部市長に見えた部分が今回の事業になっていると思うので、そういうものを立ち返って我が地域ではこのようなものをもう一度という部分があるところと出てくると思われますので、皆さんからの忌憚りの無いご意見をもとに集約して、そして検討に入っていきたいと思しますので、議論は尽きないわけですが、趣旨をご理解いただきたいと思います。

事務局

幹事会においては、提案いただいた事業を査定するのではなく、内容の重複するような事業を取りまとめ分類し、分類は分類として提案いただいたものはすべて次回協議会に提示するよう考えておりますがいかがでしょうか。

B 委員

この提案書様式を見ますと、事業費とか費用内訳とか細かくありますよね。これは事務局と相談しながらじゃないと既存の事業をグレードアップするにしても提出できないと思えます。これを個人で提出しるとなると容易ではないと思うのですが、事務局と相談しながら提出してもよろしいのですか。

事務局

B 委員は観光協会での部分をおっしゃっているのだと思いますが、実は事前に支所内部でも各課からの事業提案を取りまとめております。産業課から何点かいただいてありますが恐らく B 委員の考えておられる事と重複があると思えます。

B 委員

産業課長からもりました。ただ、それを支所内部からの提案だと言ってしまうと縛りみたいに聞こえてしますので、あくまでも個人からの提案として事務局に相談しながら提出してもよいかということです。

細谷総合支所長

その様式にあまりこだわらずに、記載できるところは記載していただき、具体的な部分については協議会で作り上げていくというスタンスでも結構ですので、あまり硬く考えずいろいろな意見を提出いただきたいと思えます。

猿田理事

協同してやって下さい。悩ましい部分については支所長や事務局に相談して、特に事業費の明細みたいなものは、おっしゃるとおり個人で作れといわれても無理な話だと思いますのでつかみでよろしいかと思えます。当然今年の前段で申し上げましたとおり既に来年度予算の策定作業に入っているわけですのでこれらの詳細にわたった資料を添付して予算要求することは時期的にもう間に合いませんので、今年につかみで一地域いくらという予算要求になります。そしてそれぞれの地域

でこれぞという事業が確定した段階で金額を割り振っていくという作業になります。ですので、今年の場合はそれほど硬く考えていただかなくても構わないと思います。

B 委員

わかりました。

正木会長

いずれ皆さんからの提案をしていただいて、それを踏まえて幹事会で集約して、最終的には地域協議会にかけて決定していければと思います。他にございませんか。

C 委員

少し意味合いが分かりづらいと言いますか、一例として、例えば観光協会で言うとそれに関わっている人はイベントの中身がよく分かるが、全く関わりのない人は分かりづらい、あるいは既存のサイクルロードレースや夏まつり等のイベントも前から続けてはいますが、今何がどのくらいどうなっているのが等が分かりづらいです。もし、今年度のそういった事業がどのくらいの予算の中で実施されてきたのかを示していただければ、もう少し予算をつけて内容を濃くしたらどうかという見方もできると思いますし、先程 A 委員もおっしゃったとおり、ひな街道のように地域内の方より、他地域の方が喜んで訪れてくれる行事もあるので、そういったところに行政からの費用をプラスすることでどのくらいの効果が上がるのかを見極めてみたいという思いもあります。ですので、できれば当年度の事業の名称と予算額を参考までにご提示いただければと思います。地域内の方が良かったと思う、地域が盛り上がる地域づくりと、観光等、他地域の方から見て喜ばれる地域づくりがあるかと思うので、区別しながら考えてみたい気がします。委員個人個人で提案するのもいいですし、所属団体に関わっている面からの提案もいいでしょうが、提案する前に、委員区分でも話し合いを設けてからでもいいかと思います。それについてご意見をお聞きします。

正木会長

現在置かれている状況、数字や流れ等も含めて実績の報告が欲しいということで、提案する上で一つの参考になるかと思いますが、(事務局に対し)提示はいただけますか。

B 委員

今急には無理かと思われませんが、提案書の中に事業内容というのがあるので、何故この事業を提案したか、今までや現在の状況がこうだったのだからこうしていきたい等、そういうのは書いた方がいいと思います。

C 委員

急にということではなく、提案書を提出する前にそういった資料をいただけたら提案もしやすいかということと、委員区分でも内々に話し合いを設けても効果があるのではという面からの提案でした。

正木会長

今の C 委員のご意見は、日程的な面も含めていかがでしょうか。

細谷総合支所長

後日、参考資料として配布することは可能かと思います。

猿田理事

21年度の観光協会の予算書のようなものがあれば、当然事業名と予算額が分かると思いますが、21年度の決算を待つと時間がありませんので、予算を目安とするしかないでしょう。

C 委員

観光的な部分と文化的な部分、あるいは丸亀や高松の都市交流事業、在京矢島会等の交流も、年々内容がなくなってきてしまっているように感じます。そのようなものもできるだけ、内容をご提示いただければありがたいです。

事務局

地域づくり推進事業の対象事業に掲げられているような、現在の矢島地域管内における事業一覧、予算の措置状況をご提示するというところでよろしいでしょうか。

正木会長

それではできるだけ早くご提示いただいて、委員の方々に渡るよう手配をお願いします。他にございませんか。

事務局

先程C委員がおっしゃった、委員区分ごとでの話し合いについてですが、それは分科会のようなものを設けて話し合ってみては、ということでもよろしいですね。委員区分というと、地域代表と団体代表、学識経験という、その中でもいろいろな分野がありますので、その括りではやりづらい面はあるかもしれませんが、今年度は申し訳ありませんが時間がない中での作業になってしまいますので、分科会までは実施できないかもしれませんが、来年度以降の選定にあたっては分科会で話し合ったものを全体の地域協議会で最終決定するという形も検討したいと思います。

C 委員

わかりました。

細谷総合支所長

地域づくり推進事業は来年度以降も継続されていきますので、そのような視点でも話し合っていければと思います。

佐藤副会長

2週間でだいたいの事業の振り分け作業をしていくわけですが、皆さんいろいろな意見があるかと思えますし、集約するのは大変じゃないかと懸念しております。C委員から委員区分での話し合いはどうかのご提案がありましたが、イベント事業・研修事業・環境整備事業といった事業名目がありますので、委員会内で区分分けをして、そこに行政から資料をもらってその中で提案した方が、集約しやすいのではないのでしょうか。

D 委員

この事業の目的は、既存事業にこだわらず新しい事も考えながら、どのようにこの地域を良くしていくかだと思います。ですので、それぞれの委員がいろいろな価値観でこういったものを行ったらどうかという提案が出てくるからこそ、新しい発想が生まれたり違った見えないものも見えたりするのではないのでしょうか。それを文化事業、観光事業等と分けてしまうと、偏った形になるのでは。

ですので、枠をなくして多方面から考えた方が偏りのない、皆さんの意見を基にした事業ができるのではないかと考えます。

正木会長

区分分けしてはどうかという意見と、分けない方がいいという二つの意見がありました。どの形がベストか判断には苦しみますが、どういう方向で話し合っていけば良いか皆さんのご意見をお伺いします。

C 委員

悩むところですが、B 委員のおっしゃったように、考える母体があってそこである程度成案的にもってきたものと、最初から個人で出したものを比較すると、後者の意見が良いものであったとしてもどうしても差がでてくるのではないのでしょうか。それと、優先順位として、来年度実施したいものと来年度以降実施しても良いものもあると思います。また、既存事業の内容を濃くして得られる効果と、新しい事業効果を組み入れて考えられれば一番良さそうですが、選定は大変だろうと思います。

正木会長

例えば佐藤副会長がおっしゃった、事業名目ごとに区分分けして話し合って集約する方法は、選定がしやすいと思います。区分分けをして限定してしまうと、それぞれの委員のバラエティに富んだ意見を押しさえ込んでしまうことも懸念されますので、難しいところです。

A 委員

皆さんおっしゃるように大変悩むところではありますが、その方向性をこの協議会で決めるのが一番近道ではないかと思えます。通常どのようなイベントを行うにもどのような団体でもかなり会議を積み重ねていくところを、二週間で決めてしまうわけですから、例えば先程お話しあったひな街道のように、地域内の方が参加するというよりも、対外的に人を集めて活性化を図るという方向性でいくのか、夏まつりのように地域住民が楽しめるイベントという方向性でいくのか、何か目的を持った予算措置をしていかないと、ぼやけてしまうということがありますので、できればその方向性だけでもこの協議会の中で決定できれば自ずと答えも出てくるのではないかと思えますが、いかがでしょうか。

正木会長

A 委員からのご意見ですが、ひな街道は地元の方よりも対外的な面がありますし、夏まつりは地元市民参加型のイベントになるでしょうし、イベントの種類にもよりますがそれはやはり二面性を持った形でどちらかに決めるのは難しいものと思えます。今回いろいろとご意見をいただいておりますが、初年度ということで、やはりそれぞれの分野で提案していただいて、精査・議論して次に繋げていければと思います。今回協議しているのは22年度の事業になりますが、初年度で少し慣れて、23年度以降に繋げていくというふうにも考えられます。いずれにしろ集約はしなければなりません、総合的に判断していただいて、委員皆さんから提案書を提出していただくという方向にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

猿田理事

新しい事に取り組むというのは悩ましいと思われるかもしれませんが、それをなるべく取っ払って、自由な発想の基にたくさんの提案を出していただいかまわらないと思います。これは誰が提案したからですか、これは観光協会のものだからという選定の仕方はしませんし、やはり委員全員

で公平に議論していけば、必ず次に繋がるのではないかと思います。他地域でも様々な議論はありましたが、やはり皆さんで何枚でも提案書を出しましょうということで持ち帰っていただきました。ご難儀でしょうが、町内の方々や所属団体の方々に相談してもらっても構わないでしょうし、ご提案いただければと思います。

正木会長

それぞれ委員の方々の得意な分野もあるかと思いますので、そういったことからの発想を募って、全体で議論して良いまちづくりに繋がりたいと思います。猿田理事の言葉をお借りするようですが、今回は、全体で協議をして様々な発想で提案をいただくことをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

C 委員

まず提案書を出してみないと分からない、というところですね。

E 委員

1市7町が合併したわけですが、旧矢島町でやっていた事業で、合併してから実施できなくなったものもあります。例えば大内地域では金婚式をやっていますが、矢島地域ではできないといったような。そういった事業も考えてみる必要があるのではと思います。

正木会長

金婚式は、合併して1年くらいは行政で実施されていたと思いますが。

C 委員

今現在は生駒顕彰会が主体となって実施されていたように思います。

正木会長

元々は町でやっていた事業を他団体が立ち上げているケースもありますね。

E 委員

主体を行政に戻すまでいなくても、行政が関わりを持ってくれるところまでいければと。

事務局

ただ今おっしゃられたことに限定しますと、せっかく行政から離れて独立して金婚式というイベントをやられているのであれば、その組織を実施主体として今までどおり実施していただいて、そこにこの推進事業で応援していくという解釈でよろしいでしょうか。

E 委員

例えば今は懇親会費も会場費も自分たちで負担していたものを、会場費はこの推進事業で負担してくれるといったような、主体は変えずに随所を負担してもらえないかということです。

事務局

そういった提案を出していただければ検討していきます。

F 委員

300万円の予算がいただけるというお話を聞いた時にいろいろ考えました。ブログをやっている

るのですが、自分の考えをブログに書いたところ、読んでくれた方がコメントもくれました。ですので、今頭の中で10事業くらいは提案があるのですが、その10事業に通じるテーマが、子供の事です。この提案書はまず子供の事について書きたいと思います。いただいた資料を見ても、子供について書かれている事が少なく感じます。私はたくさん出したいと思いますので、皆さんも出していただきたいです。既存の事業もちろん大事ですが、これからの将来を担っていくのは子供達ですので、確かにいろいろなお祭り等もあって行事も楽しいものですが、ぜひ子供達の事も考えた提案を皆さんにも考えていただきたいというのが希望です。

猿田理事

イベント事業・研修事業・環境整備事業という3区分が提示されてはいますが、あくまでひな形として考えていただいて、そこにこだわらず自由な発想で構いません。いろいろな方々が10人集まれば何十種類という考えが出てくると思います。それを全体で協議していくのも、活性化に繋がる第一歩だと考えます。

事務局

F委員がおっしゃったとおり、この3区分に直接は当てはまらないような提案もあろうかと思えます。区分にとらわれず、地域の活性化に繋がると思われるようなものであれば、広い視点でお考えいただきたいと思えます。

正木会長

他にございませんか。地域づくり推進事業についてご意見を伺いましたが、まずは皆さんからご提案いただいて、協議をしていきたいと思えます。提案書を作成する部分で分からない点がありましたら事務局に相談していただくということで、この件につきましては以上でよろしいでしょうか。それでは二つ目のさくら満開まちづくり事業についてのご説明をお願いします。

さくら満開まちづくり事業について(～振興課振興班 三浦主査)

【資料2】に基づき説明。さくらマップ(矢島駅前部分抜粋)と事務局案を提示。

正木会長

事務局より説明をいただきましたが、これについて何かご意見はございませんか。

B委員

この事業は単年度で終わりでしょうか。

事務局

とりあえずは単年度ということでした。

B委員

桜というのは生き物ですから、大きくはなります。葉が伸びたりで剪定したりという予算は、今後はどこから出るのでしょうか。植えて終わりでは事業としてはいかがなものかと私は思います。駅前に桜を植えると、まずはきれいですが、その後どのように手入れや剪定をしていくのでしょうか。

C委員

一応管理者は由利高原鉄道矢島地域協力会と書かれているようですが。

事務局

この資料は現在の花壇の管理者という意味で、桜の木となると、そうもいかなくなるかと思えます。木の維持管理については、今後どのような形でさくら基金が予算化されていくのかはまだ決定しておりませんので、はっきりした事は言えませんが、考えていかなければいけないと思えます。また、この事業とは別の事業になりますが、10月末の県の緊急雇用事業で、矢島地域内の主に公共施設になりますが、桜の木の維持管理を発注しております。約250万円の予算で1月末頃の工期で実施する予定ですが、剪定からテングス病の除去、また必要に応じて施肥等も行う予定です。ある程度継続的にこういった事業ができれば良いとは考えております。

G 委員

さくら満開まちづくり事業で植えるのはソメイヨシノだけでしょうか。

事務局

ここで提示したものはあくまでも例です。先日の幹事会の際にも、ソメイヨシノだけではなくて、咲く時期をずらして八重桜ですとか、黄桜は東由利だけといったことにしなくても良いのではというご意見もありましたので、皆さんからのご意見があれば検討していきたいと思えます。

G 委員

この周辺に植えられているのは一斉に満開になって一斉に終わってしまいますので、例えば6月になっても咲いているのも良いでしょうし、いろいろな品種があるでしょうし、いつまでも楽しめる、他にないような美しい桜を植えられれば良いのではないかと思います。

H 委員

桜は毎年咲きますが、手入れしなければだんだんときれいに咲けなくもなります。手入れをすることが一番だと考えます。矢島地域では手入れをしているのをなかなか見かけませんが、西目地域では毎年剪定しているのを見かけますし、きれいに咲いていると思えます。新しく植えるよりも、まずはきちんと手入れをしてからの方が良いのではと考えます。

B 委員

由利高原鉄道矢島地域協力会では、矢島駅前に植えることには了解はいただいているのでしょうか。

事務局

由利高原鉄道矢島地域協力会の事務局は矢島振興課でっておりますし、事業自体の話は役員には先にしております。また、隣が天寿さんで、葉っぱ等の問題もありますので、そちらの方にも話はしております。また冬まつりでのジャンボすべり台への影響を心配されているかもしれませんが、それを楽しみにしている方もいらっしゃるでしょうし、あまり影響のないようにしたいと思います。

A 委員

やはりイベントはやりやすいように植えてもらった方がいです。

B 委員

だとするとイベント広場への入口側の芝生上の6本はあまり樹が大きくなると、イベントに非常に影響が出るかもしれません。

事務局

八朔まつりの際には、芝生部分は使ったりしていますか。この芝生の前にテントが張ってあって出店があったように思いますが。

A 委員

ここは花壇があるので今は通り道には使っているかもしれませんが、テントを張ったりはしていないのではないのでしょうか。花壇を上から見れば桜の形に見えますが、平地からはあまり分らないかもしれませんので、この花壇の形自体は直せるのであれば直してもらっても良いのではと思います。

正木会長

このさくら満開まちづくり事業そのものの、矢島駅前への植栽ということについては皆さんのご賛同はいただけるものでしょうか。やはり矢島の玄関口として、桜の名所にしたいという思惑もあるようですし、幹事会でも、日新館にある桜が終わってから矢島駅前で咲くような品種がないのかという意見が出ました。そのあたりについては森林組合のI委員もいらっしゃいますので、開花時期的なものも含め、品種の選定等をお願いすることは可能でしょうか。

I 委員

可能ですが、まだ事務局の方と詳細な打ち合わせが済んでいない状況です。個人的には、桜を植えることも良いのですが、花壇の方に最初に目がいってしまって頓挫しておりました。何か方法があればいいなと思っていたところです。

正木会長

やはり専門分野の方の判断に委ねなければいけない部分もあると思います。またイベントへの支障もないような植栽の方法等、専門の方々の知恵を拝借していきたいものです。そういうものを加味しながらではありますが、いずれ矢島駅前のイベント広場周辺に植栽ということをご賛同いただけますでしょうか。

委員全体

はい。

正木会長

ではイベント広場周辺への桜の植栽というのは、今後に支障をきたさないように植栽方法を加味しながら、事業遂行にあたっていくということと、品種の選定も含めながら、今後ご協力をお願いしたいと思います。それではさくら満開まちづくり事業の件をこれで終わります。次に第3回地域協議会の開催日程について、に入ります。事務局からお願いします。

第3回地域協議会の開催日程について（～振興課振興班 三浦主査）

【資料3】に基づき説明。事務局案として11月20日（金）を提案書提出期限日、その一週間後に幹事会開催、さらにその一週間後の12月4日（金）に第3回地域協議会開催を提案。

正木会長

12月になりますと何かと慌ただしいということで、上旬に開催してはということから、12月4日（金）を提案させていただきました。いかがでしょうか。

猿田理事

12月4日(金)はおそらく12月議会の本会議等で日中は無理かと思います。細谷総合支所長も出席できなくなるのでは。4日が本会議のスタートですので、その1日でも前であれば構わないと思います。

事務局

第3回地域協議会においては、行政改革推進本部の方からの説明事項があるということで、今回の地域づくり推進事業の事業決定も含めての件もありますので、時間も要すると思われま

B委員

日程等は幹事会に一任します。

正木会長

では第3回地域協議会の日程は、本会議の前に持ってきてきたいと思います。

事務局

それでは事務局案として、12月3日(木)を提案させていただきます。

正木会長

事務局案を踏まえて、幹事会で決定いたします。時間は午後1時半からでよろしいでしょうか。

委員全体

はい。

5. 報告事項

由利本荘市定住自立圏形成方針の策定について(～細谷総合支所長)

【資料4】に基づき説明。

猿田理事

議会でもご承認いただいたことですから内容は大きく動いておりませんが、これを受けて今年度中に圏域共生ビジョンなるものを策定する懇談会を、年内に2度程度はやらなくてはならないため、その人選に入ろうとしております。もちろん各地域からご参加いただくこと、これらの内容に沿って、例えば福祉医療部分の代表の方ですとか、観光分野の代表の方、といったような方々を含めて、想定するのは15～16人くらいになるかと思っております。矢島地域からも、どなたになるかは想定できませんが、必ずご参加いただくことになりま

第1回協議会における意見・提案に対する取り組み状況について(～振興課振興班 三浦主査)

【資料5】に基づき説明。 については建設課長から直接説明。

工藤建設課長

市道の整備計画につきましては、平成15年の12月議会において、採択すべきとの議事録を確

認しております。その後平成17年3月に由利本荘市として合併し、各事業の緊急性と重要性、さらには事業期間中の財政状況等を検討して由利本荘市の総合発展計画の策定にあたったところですが、この中でも市道の整備について、緊急性と重要性等を勘案して計画の中に登載されたということですので、ご理解をお願いしたいと思います。ちなみに矢島地域で道路改良計画として登載されたものですが、旧市道として被川線が平成26年度以降の道路改良舗装事業の計画となっております。また同じく坂之下線につきましては23年度事業で改良を行うこととなっております。その他の市道としまして小田中通線が登載されておりますが、こちらも平成26年度以降での対応となっております。

正木会長

提示されてありました案件はこれで以上ですが、何かございますか。

C委員

ケーブルテレビの件です。現在由利の気象情報が4chで放送されたりしていますが、大内と東由利はほとんど出てきません。平成22年4月からは観測地点を改良するということだったと思いますが、来年度からは間違いなく由利本荘市全域のデータが出るようになりますか。

事務局

担当は情報政策課になりますが、矢島中学校の裏通りに1箇所と、花立の移動通信用鉄塔が設置された裏手あたりに1箇所、今年度に観測地点を設置する予定で、矢島には2箇所の設置となります。

C委員

やさい王国の所のものは機能しているのでしょうか。

事務局

それは気象庁のものです。今取りかかるのは由利本荘市として設置するものです。

正木会長

他にございませんか。

佐藤副会長

皆さんに一つお願いがあります。地元の鉄道である由利高原鉄道が、再生計画を立てながら県の担当課等も巻き込みながら乗車運動を続けております。そこで、矢島地域の協議会として協力していきたいということで、10月15日の幹事会でも話をしました。現在年4回の地域協議会が開催されておりますが、年1回、1,000円で1,100円分無期限に使用できる特殊回数乗車券を費用弁償としてはどうかということを皆さんに提案申し上げたいと思います。皆さんからの了解が得られれば次回から年1回、費用弁償で特殊回数乗車券を購入してお渡しして、由利高原鉄道に協力していきたいと考えます。ご意見をよろしくお願いします。

正木会長

佐藤副会長から提案につきましては、私は鳥海山ろく線運営促進連絡協議会の会長もおおせつっておりますが、大井社長さんを初め、皆さんで四苦八苦しなながらこの地方鉄道を守るという厳しさも感じております。ですがやはり鉄道でなければならぬ交通弱者もいらっしゃいます。そこで我々が手助けできることは何かないのかと考えての佐藤副会長からのご提案です。皆さんのご協力

が得られれば、今後矢島地域に限らず沿線の由利地域、鳥海地域等にも呼びかけて参りたいという気持ちであります。鉄道本社がある地元矢島としてご協力を得て、そのような活動もして参りたく、何卒深いご理解を賜りたいと思いますのでよろしくお願い致します。ご賛同いただけますでしょうか。

委員全体
拍手で賛同

正木会長

ありがとうございました。今日欠席されている委員もいらっしゃいますし、この件については後日再度口頭でご説明して、委員全員からのご協力を願いますのでよろしくお願い致します。

G 委員

次回以降は全て特殊回数乗車券での費用弁償になるということでしょうか。

正木会長

年に1回です。皆さんの温かいご賛同ありがとうございます。また、長時間にわたりましたが、予定されました案件を原案どおりご承認いただきましてありがとうございました。地域づくり推進事業につきましては、忌憚のないご意見をご期待申し上げます。次回の地域協議会は12月3日を予定しておりますので、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い致します。本日はありがとうございました。

6. その他

7. 閉会(15:20)